

親子で三四会員 息子へ、父へ。

先月からスタートした新連載「親子で三四会員」の第2回に登場していただくのは渡辺家です。親子で三四会員であるだけでなく、2人の息子とも慶應医学部を卒業し、医師として医系技官となりました。それぞれの道を進む息子たちにとって、今も現役医師として活躍する父はどのような存在なのか。また、そんな息子たちを父はどう見ているのか。普段はなかなか語られることのない想いを綴ってもらいました。

父・

渡辺 院長 渡辺 眞幸(外34回)

祖父金五郎が明治38年(8回・90年没)に次いで私(34回)は3代目となります。本年でめでたく開院107年を迎えました。父は武見太郎氏と同級で一開業医として東京都医師会会長を24年間努め、その間国民皆保険の実現等に貢献しました。



父の病院の前で。左が長男・眞純、右が次男・眞俊

眞純は子供の頃、今では考えられない程に食が細く痩せ身で、メソメソしながら年下の妹にせき立てられ幼稚園に行ったこともありません。ところが幼稚園に入學すると担任の鈴木信弘先生の指導を受け、見事に変身し、幼稚園の6年間と中高6年間、皆勤賞をもらう程に心身ともに頑丈に成長しました。その間親として子供の健康に留意したのは無論でありま

す。眞俊は小学校の入学時、クラスで一番小さく上級生の女子のアイドルでした。しかし体は小柄でも忍耐力は抜群で、中学受験に向けて数学の問題に10時間も平気で挑戦していました。

我が家の家訓は(一)誠実であること(二)継続は力なり(三)公私の区別をきっちりつけること(四)リーダーとしての素養を身につけること(五)であります。毎年、元日の祝いの席でこの家訓を家族全員の前で訓示してからお年玉を配

るのが慣わしです。長男は呼吸器外科を専攻しておりますが、末松学部長・武田病院院長のもとで現在は新病院棟建設企画担当の教授という大役に専念しています。次男眞俊は厚労省医系技官ですが現在は文科学の高等教育局(医学部担当)へ出向中で医学部新設等に関する難題に取り組んでいるようです。

長男・

渡辺 眞純(外64回)

【わが父】幼稚園、普通部時代まではとにかく怖い父親のイメージが強かった。自宅で開業医のため週末にゴルフに行く以外はとにかくいつも家にいた。基本的に酒を飲まない父親だったのでその勢いで怒られることはなかった。これは見習わなければいけないと思っ

【医師として尊敬しているところ】外科出身のジエナル・フィジシャンとして地域に密着し、老

私はどちらかと言うと「転ばぬ先の杖」の考えですが教育学部出身の家庭は、たとえ転んだとしても自分で考えて行動する方がよいと思っ

次男・

渡辺 眞俊(71回)

【わが父】業務関係以外で父の紹介をする、「スポーツ好きであること」、「歴史にかける本を中心によく本を読んでいること」、「アルコールがあまり強くないこと」がまずあげられるかと思っ

【目指す医師像】私は、健康・医療行政に携わる医師であるため、臨床現場・研究現場の想定とはかなり違っていますが、その業務遂行にあたっては、短期的な視点だけではない

後、20年以上が経過して客観的に思うのは、父の影響等周りの影響をいろいろと受けながらも、自分らしさをどのように出しているか、と幼少の頃から考え続けてきたような気もしております。

父へのメッセージ

【父へのメッセージ】今もマイカー運転で週イチゴルフをやっているようですが、これからも益々元気で下町の地域医療をよろしくお願いします。

【目指す医師像】私は、健康・医療行政に携わる医師であるため、臨床現場・研究現場の想定とはかなり違っていますが、その業務遂行にあたっては、短期的な視点だけではない

【父へのメッセージ】「我が家の家訓」について前述されていたかと思いますが、その内容について、少しばかり「斬新さ」、「面白み」に欠けるかもしれないという気はするものの、ある意味、「古今東西普遍的真理」であろうかと思っ

父へのメッセージ

【父へのメッセージ】「我が家の家訓」について前述されていたかと思いますが、その内容について、少しばかり「斬新さ」、「面白み」に欠けるかもしれないという気はするものの、ある意味、「古今東西普遍的真理」であろうかと思っ

【目指す医師像】私は、健康・医療行政に携わる医師であるため、臨床現場・研究現場の想定とはかなり違っていますが、その業務遂行にあたっては、短期的な視点だけではない

く、10年後、30年後、50年後を見据えて「質の高い施策をどれだけ展開させていけるか」ということを絶えず念頭に置きながら日々の業務に取り組んでいます。一例として、今の文部科学省医学教育課の業務において、前述の「専門医の育成」と同時に「総合的な診療能力を有する医師」の育成に当たってすべきことは何か、また、現在

父へのメッセージ

【父へのメッセージ】「我が家の家訓」について前述されていたかと思いますが、その内容について、少しばかり「斬新さ」、「面白み」に欠けるかもしれないという気はするものの、ある意味、「古今東西普遍的真理」であろうかと思っ

【目指す医師像】私は、健康・医療行政に携わる医師であるため、臨床現場・研究現場の想定とはかなり違っていますが、その業務遂行にあたっては、短期的な視点だけではない